

## 2019年冬 TC 技術検定 2級使用情報制作ディレクション[DR]実技試験の出題意図

ディレクション試験の実技は、今回から、マネジメント、情報収集・分析、構成・表現設計、印刷工程や画面表示の制作基盤構築の4課題で構成されている。問題形式は、従来どおり、計算、選択式、記述と揃っていたが、難易度の異なる課題が取り混ぜて出題されているので、時間の配分に注意が必要である。

### 【課題1】

デジタルフォトフレームのマニュアル（使用説明）の開発が題材。20個の製品に関する情報を、使用情報の開発に関わる6つの要件（企画や法令など）に仕分ける。さらに、製品に関する情報から、製品の購入者ではなく、使用説明の対象読者をどのように設定するかを解答する。製品を購入して使用者に渡すため、購入者と読者が異なることに気づくと解答できる。

### 【課題2】

新製品の衣類用アイロンの取扱説明書の企画および表現設計が題材。取扱説明書の企画書（条件）から、スタッフへの業務分担を行う。さらに、表現設計に対するサンプルの間違いを指摘する。企画書の内容を読み込めば解答できる。

### 【課題3】

新製品のマニュアル制作のスケジュール管理が題材。制作工程と人的なリソース、および工程に関する情報から、必要な期間（スケジュール）を計算する。さらに、仕様変更に伴い、工程の変更を検討し、延長される期間を計算する。各情報を読み込み、論理的に組み立て、計算を行えば解答できる。

### 【課題4】

ソフトウェア製品の翻訳スケジュールの検討が題材。ソフトウェア製品であることから、取扱説明書だけでなく、画面上のボタンや表示されるテキストの翻訳が含まれる。さらに、多言語翻訳を行うため、日本語からターゲット言語へ直接翻訳するか、一度翻訳したターゲット言語を介して別のターゲット言語に翻訳するかを検討する。また、翻訳の効率化を図るため、用語辞書をどの時点で作成するか、類似製品の用語辞書を参照するか、といった条件も加味される。各情報を読み込み、論理的に組み立て、筋道を立てられれば解答できる。